

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成 24 年 9 月 5 日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870500410		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホームひまわり	ユニット名	東
所在地	〒315-0023 茨城県石岡市東府中1-10		
自己評価作成日	平成 24年9月5日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

毎日軽い体操や屈伸運動を行い、下肢筋力低下を予防しているため、現在のところ転倒による骨折事故は発生していない。また頭の体操と称して毎日トランプを実施し、利用者様も日課として参加し、7並べを1回では足りず2回、3回と賑やかにやっている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全体で事業所理念と地域密着型の理念をつくり、法人の理念と共に誰もが見やすいところに掲げ職員は共有している。時折ミーティング時に再確認をしている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣のコンビニエンスストアに散歩がてら買物に行ったり、季節の衣類を買物したり、近所のファミリーレストランで外食をして地域と交流を図っている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	高齢者が気がねなくホームに遊びに来られるよう、運営推進会議のメンバーである民生委員に働きかけている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、会議のメンバーからの意見や要望に耳を傾け、また情報の交換を行い今後のサービス向上に活かすよう努めている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のメンバーでもある市役所の担当者と関わりを深め、市町村との協力関係が得られるよう努めている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束による利用者への身体的弊害を職員それぞれが理解し、できる限り身体拘束をしないよう取り組んでいる。しかし、やむを得ない場合は家族の同意を得て、最小限にとどめ、危険を回避している。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常見逃してしまうような行為にも虐待と思われる危険性があるため、ミーティング時に再確認をしながら、職員一人ひとりが意識をして虐待を防止していくよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学び、利用者や家族の必要に応じて、活用できるよう支援していく。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時の契約締結の際には十分な説明を行い、不安や疑問には更に説明を加え、利用者や家族の納得が得られるよう努めている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族が気がねなく意見を表せるよう玄関に意見箱を置き、出された意見や要望には真摯に受け止め、今後のサービスの質の向上につなげていく。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングの折の意見や、日々の会話の中での声に耳を傾け、職員が働きやすい環境をつくり、働く意欲につなげていく。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人ひとりの勤務状況を把握し、それぞれが努力し向上心を持って働けるような職場づくりに努めている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が知識や技術の向上に努め、サービスの質を高める為、研修会にはできる限り出席し、それぞれが研鑽に励んでいる。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域密着型介護サービス事業所協議会に加入し同業者と話し合いを持ったり、講演会に参加することによって交流を深め、活動を通してサービスの質の向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時の不安を少しでも軽減できるよう関わりを持ち、本人の気持ちに配慮しながら関係性を築くよう努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所当初、利用者や家族が不安を抱えているとき、職員はいち早く気づき、話しを聴きそして受け止め信頼関係を築くよう努めている。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所の際、本人や家族の要望に耳を傾け、必要としていることに対し、できる限りの対応に努めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で利用者と職員が共に過ごし、喜怒哀楽を共有しながら、支えあう関係を築いている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時には利用者の日常生活状態等を報告したり、利用者と家族が水入らずで歓談できるよう配慮している。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の知人や友人の来訪の際には、ゆっくり話ができるよう配慮し、いつでも遊びに来られるような環境づくりに努めている。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	少人数のユニットにおいては、利用者同士が支え合う関係もできるが、関係が悪化する場合もあり、このような時は職員がいち早く介入し、関係を修復するよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者が退所した後も関係を断ち切ることなく家族と連絡をとり、本人の状況や経過を見守りながら必要に応じフォローしている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努め、本人に添ったケアができるよう職員間で話し合っている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	信頼関係を築きながら、利用者が個々に生きてきた生活歴の把握に努め、本人が安心して穏やかに暮らせるよう取り組んでいる。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの自由時間の過ごし方や心身状態の把握に努め、本人が気がねなく安心して生活できているか確認し、また同じユニットの仲間との良好な関係性が保たれているか把握に努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員全体でミーティングやカンファレンスを行い、アセスメントやモニタリングを繰り返しながら、利用者一人ひとりのケアプランを作成している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしや心身状態を記録し、どんな小さなことでも職員全体で情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族が生じる、その時々ニーズに柔軟に応じられるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安全で豊かに暮らしていけるよう、ボランティアや理美容の協力、そして警察や消防等の力を借りて支えている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、本人や家族の希望を重視しているが、母体が病院であるため、ほとんどの利用者が外来及び訪問で月2回受診されている。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	外来や訪問の看護師とは日頃から関係を築いているため、利用者の状態の変化や異常に気づいた時は、いち早く連携をとり医療支援に繋いでいる。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者はほとんど高齢で認知症を有しているため、日々状態の変化に気を配り、変化に気づいた時は、いち早く病院看護師に連絡をとり、症状を報告し医師の指示を受けている。日頃より病院関係者との関係づくりを行なっているため、緊急の場合はスムーズに運ぶことができている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期における支援については、入所時や重度化した場合に対応方針を説明し、理解を得ている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に、慌てずに適切な行動がとれるよう、職員は個々に心肺蘇生等の救命処置の研修を受け、技術の習得に励んでいる。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害に備えて、消火訓練・通報訓練・避難訓練を行い、昼夜を問わず利用者が無事に避難できるよう職員全員が取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねないよう入室する時はロックまたは必ず声かけをし、個々に話しをする時はその人に合った対応に心掛けている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々関わりを持つ中で更に関わりを深め、表情やしぐさで思いが理解できるように努め、少しでも本人が意思を表せるよう取り組んでいきたい。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れに沿って、ゆったりと過しているが、余暇活動や行事への参加は本人の意思に任せ、本人のペースで生活が送れるよう支援している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や服装は利用者一人ひとりの好みに応じて支援しているが、意思表示の難しい利用者には、その人らしいおしゃれができるよう心掛けている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は全員同じものであるが、好き嫌いのある利用者には別メニューで提供したり、咀嚼困難な利用者には全粥やペースト食作り、その人に合った対応をしている。音楽を流し、雑談しながら利用者と職員と一緒に食事を楽しんでいる。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を毎日記録して、1日を通して必要量が摂れているかを確認している。不足している場合は好みの飲料水や高カロリー飲料水等で補うようにしている。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけ・誘導し、その人に合った口腔ケアを行い、口腔の清潔保持に努めている。週2回義歯洗浄剤を使用し、自主的に行っている利用者もいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	リハビリパンツ使用の利用者は多いが、できる限りトイレで排泄できるよう援助している。自立している利用者には現状維持を保てるよう支援を行っている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便チェックを行ない、一人ひとりの排泄習慣を把握し、軽い運動をしたり、水分の補給を行い、便秘の予防に取り組んでいる。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決めているが、利用者の希望や羞恥心に配慮しながら、入浴支援を行っている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者のその時々状態に応じ、眠れない時は話し相手になり、本人が自然にくつろげるよう配慮し、気持ちよく安眠できるよう支援している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりの内服薬管理表をつくり、常に目が届くところに配置し、薬の目的や用法・用量が確認できるようにしている。また飲み忘れや誤薬を防ぐため、再三の確認に努めている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日余暇活動を実施し、頭の体操と称しトランプや折り紙・計算等でひと時を過している。時折静いもあるが日々の楽しみごととなっている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の外出は困難であるが、ユニット毎に屋外散歩に出たり、個々に買物に行き衣類や菓子等を購入して来ることがある。またぶどう狩りや花見が年中行事となり利用者も楽しみにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自立している利用者には、買物に同行し、自ら代金の支払いができるよう支援しているが、ほとんどの利用者が職員管理となっている。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>少人数ではあるが、家族に電話がかけられるよう誘導・見守りしながら支援している。手紙は依頼があれば投函している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が居心地よく過ごすことができるよう、館内や室内の温度管理を行い、遮光にも配慮し、それぞれがその人らしく生活していける工夫をしている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにおいてはテレビを観たり、余暇活動をして過しているが、和室では洗濯物をたたみながら賑やかに過している時間もある。居室で本を読んだり、横になれる時間を静かに見守りし、自分の時間をゆったり過して頂けるよう工夫している。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が安心して生活できるよう、使い慣れた物や家族の写真等を置き、その人らしく暮らせるよう工夫している。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>転倒を予防するため、居室ドアに鈴を付けて、利用者の動向を確認し、即座に職員が駆けつけることができるよう工夫している。また、見当識障害のある入居者のためトイレに目印を付ける等の工夫をしている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない